全ての日大生諸君！日大九月決戦の火蓋は切って落とされた。夏休み開けと共に、全国各地で大学治安立法粉砕斗争が果敢に闘われている。しかし、日大生諸君。昨年9月、巨万の大衆を以って、あの激動の10日間を斗い抜いた、我が日大全共斗がその最先頭に立つ事を無くして全ての勝利は、有り得ないんだ、という事を確認しなければならない。

あの、大学治安立法施行の8月17日、皮肉にも、権力の攻撃に対する我々の報復は、第二の安田＝広大徹底抗戦であり、その英雄的斗いは、日帝のもくろみをものの見事に粉砕した。バリケード攻防戦に、あらゆる反革命を打ち破り勝利してこそ、大学治安立法は、全く有名無実化し、佐藤自民党政府は、決定的窮地に追い込まれるだろう。本、9月5日、機動隊による戒厳令下を突破し、圧倒的規模で勝ち取られた全国全共斗結成、それ自体、日帝を震撼せしむることであるが、その力は、当面のバリケード拡大戦に勝ち抜くことを通して、十一月決戦に向けての真の力と成り得るだろう。バリケード拡大強化に成功するならば、11月決戦には、全国のバリケードから巨万の軍団となって出陣することは間違いない。我が日大全共斗は、9、30一周年記念を以って何としてでも法経両学部を奪還し全学ストライキに突入、不屈の日大全共斗は、全国全共斗の導きの星として雄々しく登場しなくてはならない。

しかし、この間の我々の斗いに驚愕した日帝は、11月を前に実質的に破防法弾圧に

入り始めている。徹底した機動隊万能主義・予防検束・殺人・放火罪等々の重罪適用。公安条例のみで10日以上の拘留がつき、先日の早稲田カクマル派のガサ入れの際、たまたまそこに居たというだけで一〇〇名余りも凶準で逮捕、内、3分の2以上の人間に10日間拘留がついた。（通令、ガサ入れの場合、角材、ビン等々があったとしても逮捕令状が出ていないものについては、逮捕しなかった）逮捕者に対する家宅捜索は、逮捕了のある人や、住所の割れた者については、その日の内に行なわれている。公安条例だから、地検パイだとか、裁判所で名前を云ったから、拘留がつかないだろうというのは、全く過去のイメージとなってしまった。校舎捜索の際 たまたまそこに立看用の角材が置いてあったとしても、飲んだコーラの空びんが転がってただけでも 貴方は、兇器準備集合罪という名目で逮捕されて行くでしょう。権力の破防法攻撃の前に我々は、徹底した組織防衛、機密保持に徹しなくてはいけない。完全黙秘の貫徹（氏名、住所、事実関係はもちろん一切の雑談を禁ずる。）刑事、検事は、その道何年というベテランで、とりとめない雑談をしている風を装いながら我々の心理作成をたくみについてくる。弁護士選任、ケガの治療要求、生理的要求以外は、口を開かない。全ての活動家は自宅等の身辺を常に整理しておく。（名簿、日記、ビラ等々）一切置かない）逮捕者が出た場合、すぐ校ガサ入れ対策を各学部で責任以って行う。